

式 辞

冬の厳しい寒さが通り過ぎ、春の訪れを感じる今日の良き日に、卒業式を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先ほど一人一人に卒業証書を授与し、おめでとうと声をかけました。

この3年間で様々なことを学び、立派に育ったみなさんから、ありがとうございますという言葉を受けました。

しっかりと証書を受け取った皆さんの姿は、大変凛々しく、まぶしく映りました。

保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。

小中学校9年間の義務教育を終えて、幼かった我が子の成長を振り返りながら様々なことが思い出され、感慨もひとしおかと思えます。

このように立派に成長を遂げられましたのは、絶えずお子様を励まし温かく育てられました保護者の皆様方のお蔭です。

心からの敬意とお祝いを申し上げます。

さて皆さん、皆さんが大人になり働き始める2030年には、今ある仕事のうち約半分がなくなるであろうということを聞いたことがありますか。

正しくは、人がする仕事のうち約半数が、AIにとって代わられるであろうという未来予測です。

10年以内に、半数もなくなるということに、大変驚いてしまいます。

これを聞いてどう思いましたか。自分が付きたい職業は、将来あるのだろうかと心配になった人もいるかもしれません。

しかし、新しい職業がたくさん誕生するのかと思えば、とてもわくわくと楽しみになってきませんか。

今までも時代の流れや技術の進歩により、仕事は変わってきました。

自動販売機や駅の改札、田植え、稲刈り等数え上げればとてもたくさんあります。

それらは、人が動くよりも正確に自動でできる機械を作ることで、効率を上げて作業できるようになったものです。

だからと言って人の仕事なくなるわけではありません。

今度はそれが、AI(人工知能)が進化することで、考えることを代わりにしてくれるようになります。

それでも、人が何もしなくなるわけではありません。

私たちが、どれだけ沢山のことを覚えても、AIの記憶力にはかないません。

ものすごく速く計算しても、AIの方が正確な解答を瞬時に導き出すことができます。

AIの頭脳と対決しても、正確さや速さはないません。

だからこそ、これからの時代を生きる皆さんは、AIにはできなくて、皆さんにできることを大切にしてください。

AIは、様々な情報をもとに予測したり、創作したり、正解を導き出すことができます。

では、できないことはなんでしょう。

それは「失敗すること」や「悩むこと」、「迷うこと」、「後悔すること」等です。

人は、初めてのことに挑戦するとき、何でもすぐにできるわけではありません。

何度も何度も失敗して、悔しい思いをするでしょう。涙を流したり、恥ずかしいと感じたり、悲しくなったりするかもしれません。

そういう過程はAIにはありません。

しかし、そういう失敗をこえてできたとき、できたこと以上に多くのことを学んでいるものです。それが成長です。

また、費やした時間の分だけ達成感も感じます。

瞬時にできてしまっただけは、そういう気持ちにはなれないでしょう。

失敗だけではなく、後悔することもあるでしょう。

時には、人を傷つけてしまい、心から悔やみ、毎日後悔して過ごし、苦しい思いをすることもあるでしょう。

しかし、自分がしてしまったことをしっかりと受け止めて、反省することができれば、それらもまた、自分を成長させることでしょう。

そういう経験を経て、人は人に対して謙虚で寛容な心を持つことができます。

また、逆につらいことがあり、傷つくことがあるかもしれません。

苦しくてつらい思いをした人は、人のつらさをわかってあげられる優しい心が育つでしょう。

AIは悩みませんし、後悔しません。

それはなぜか、そういう感情は、数値化できるような簡単なものではないからです。

失敗することや悩むこと、後悔したりすること等は、とても人間らしい行動や感情なのです。

だから、たくさん悩んで、何度も失敗して、時には後悔もして、自分なりの道のりを歩いていってください。

それこそが、あなたらしい道になると思います。

皆さんの将来の夢は何ですか。

つきたい仕事は何ですか。

そしてそれは、その時もまだ人がする仕事であり続けるものでしょうか。

誰がしても同じようにできる仕事は、AI が代わりにするでしょう。

あなたには、あなたにしか歩けない道があります。

これからの時代を生きる皆さんは、たくさん悩み、何度も失敗して自分なりの道を進んで行ってください。

最後になりましたが、公私何かとご多用の中、ご臨席賜りました 千早赤阪村 村長 南本様 教育委員会 教育長 栗山様、教育委員の皆様並びに村議会議員の皆さまを始め、関係者の皆さま方、高いところから 失礼ではございますが、心より御礼申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、皆さんが将来、自分らしい道を進んでいくことを願い卒業式式辞と致します。

期待しています、頑張ってください。

卒業おめでとう。

令和六年三月十三日

千早赤阪村立中学校 校長 近藤 和浩